

令和 7 年度第 5 回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	観光資源としての阿多古川について												
質問(意見)内容	<p>(1)阿多古川の観光資源としての価値(魅力)をどのように考えるか。</p> <p>(2)阿多古川流域には多くの資源があり、そして人々の営みが息づいている。これらをまとめることで、他にはない観光資源＝地域おこしの資源となりうると考える。</p> <p>(3)阿多古川の水位が低下しているのは事実か。</p> <p>(4)何か対策を講じているか。</p> <p>(5)環境調査、水生昆虫の調査などを行った事はあるか。</p>												
担当課(回答)	区振興課(連絡先 926-0011)												
回答	<p>(1)阿多古川の価値(魅力)をどのように考えるか。</p> <p>(2)阿多古川流域は他にはない観光資源＝地域おこしの資源となりうると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿多古川流域では、近年、市の<u>遊休財産を活用した施設や、民間の宿泊施設、飲食店</u>などができており、この<u>地域の魅力を求めて、区内外から多くの方が訪れている。</u> ・こうした<u>機運をさらに高め、持続的なものとするためには、地域住民の協力も不可欠である。</u> ・ふれあいセンターや、区振興課の<u>コミュニティ担当職員を中心に、地域の状況を的確に把握しながら住民と協力して地域振興を図っていく。</u> ・地域住民はもちろん、<u>区外、市外在住者や関係人口、交流人口、各種団体、企業</u>などを含めた「<u>みんな</u>」がこの<u>地域の魅力を共感</u>できるよう努める。 <p>(3)阿多古川の水位について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>静岡県管理河川</u>であるため<u>静岡県</u>に確認した。 ・<u>最新(令和5年)、10年前、20年前の平均水位</u>は、以下のとおりである。(静岡県浜松土木事務所 提供) <p style="text-align: right;">(単位：m)</p> <table border="1" data-bbox="560 1700 1331 1850"> <thead> <tr> <th>観測所/年</th> <th>平成 17 年</th> <th>平成 27 年</th> <th>令和 5 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両島橋水位観測所</td> <td>-1.07</td> <td>-0.94</td> <td>-1.04</td> </tr> <tr> <td>青谷橋水位観測所</td> <td>-0.11</td> <td>-0.08</td> <td>-0.12</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・阿多古川の水位に過去 20 年間に<u>おいて変化は認められない。</u> 	観測所/年	平成 17 年	平成 27 年	令和 5 年	両島橋水位観測所	-1.07	-0.94	-1.04	青谷橋水位観測所	-0.11	-0.08	-0.12
観測所/年	平成 17 年	平成 27 年	令和 5 年										
両島橋水位観測所	-1.07	-0.94	-1.04										
青谷橋水位観測所	-0.11	-0.08	-0.12										

令和7年度第5回天竜区協議会地域課題

(4)何か対策は講じているか。

- ・阿多古川は1級河川のため、管理は静岡県が行う。
- ・現在、水位の変化が認められないため、対策は行っていない。

(5)環境調査、水生昆虫の調査などを行った事はあるか。

- ・静岡県では、生物調査はこれまで実施していない。
- ・浜松市では、下阿多古ふれあいセンターが企画し、地元在住の市及び県の環境学習指導員を講師に、環境保全の大切さを学ぶため、子ども講座「水生生物の調査」を開催して、阿多古川の水生生物採取調査を実施した。